

2023 年度学会賞・学会功労賞・奨励賞・ 女性 Analyst 賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2023 年度の学会賞・学会功労賞・奨励賞・女性 Analyst 賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

日本分析化学会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程を参照のうえ、10 月末日までに所属支部の学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞・女性 Analyst 賞候補者推薦委員会あてに、推薦理由書 [A4 判（縦に使用）用紙にワードプロセッサを用いて 1,200 字以内] に文献リストと候補者の略歴を添えて、文書及び電子ファイルの双方にて、お申し出ください。

『学会賞規程』

- 第 1 条 本会に学会賞（以下本賞という）を設け、本会の正会員にして分析化学に関する貴重な研究をなし、その業績を本会論文誌及びその他の論文誌に発表した者の中から、特に優秀なる者にこれを贈呈する。但し、学会功労賞受賞者及び技術功績賞受賞者は受賞できない。又、同一年度の学会功労賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第 2 条 本賞の贈呈は、毎年 3 件以内とする。
- 第 3 条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 本賞を受けた者は、年会において学会賞受賞講演を行う。
- 第 5 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 6 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会（以下支部推薦委員会という）を設ける。
- 第 7 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 8 条 候補者の推薦に当たっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
- <以下省略>

『学会功労賞規程』

- 第 1 条 本会に学会功労賞（以下本賞という）を設け、本会の正会員にして日本分析化学会及び分析化学の発展に多大な貢献をなした者で、受賞の年の 1 月 1 日現在、30 年間以上引き続き本会会員であり、満 55 歳以上の者にこれを贈呈する。但し、学会賞受賞者及び技術功績賞受賞者は受賞できない。又、同一年度の学会賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第 2 条 本賞の贈呈は、毎年 5 件以内とする。
- 第 3 条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 5 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会（以下支部推薦委員会という）を設ける。
- 第 6 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 7 条 候補者の推薦に当たっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
- <以下省略>

[注記] 学会功労賞は、次のような業績が対象となります。

- (1) 本会の発展に対する功績、(2) 分析化学の教育における功績、(3) 分析化学の国際交流における功績、(4) 本会の本部・支部の役員としての功績、(5) 本会の各種委員会・研究懇談会における功績、(7) 本会の本部・支部事業等における功績、(8) その他分析化学による社会的功績

『奨励賞規程』

- 第 1 条 本会に奨励賞（以下本賞という）を設け、本会の正会員にして受賞選考の時期までになされた分析化学に関

お知らせ

する研究が独創的であり、将来を期待させる研究者で、受賞の年の4月1日現在で満38歳以下の者に、女性もしくは企業に所属する者については受賞の年の4月1日現在で満45歳以下の者に贈呈する。

② 研究業績は、本会論文誌又はその他の論文誌、及び特許等の知的財産を対象とし、いずれも公表されたものでなければならない。

③ 受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は、主たる研究者について適用する。

第2条 本賞は、毎年5件以内とする。但し、大学及び公的研究機関に所属する者については4件以内とする。1件以上は企業に所属するものに授与することが望ましい。

第3条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。

第4条 本賞を受けた者は、年会において奨励賞受賞講演を行うほか、本会論文誌「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。

第5条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。

第6条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会（以下支部推薦委員会という）を設ける。

第7条 会員は、その所属する支部推薦委員会に10月末日までに候補者を推薦することができる。

第8条 候補者の推薦に当たっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。

<以下省略>

『女性 Analyst 賞 規 程』

第1条 本会に女性 Analyst 賞（以下本賞という）を設け、本会会員、非会員にかかわらず、分析化学に関する優秀な業績をあげた女性研究者、女性技術開発者あるいは女性企業経営者に、これを贈呈する。但し、学会賞、学会功労賞、技術功績賞受賞者は、受賞できない。また、同一年度の学会賞、学会功労賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。

第2条 本賞の贈呈は原則として毎年2件以内とする。

第3条 本賞は賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。

第4条 本賞を受けた者は、年会において女性 Analyst 賞受賞講演を行う。

第5条 会長は、各支部長、研究懇談会委員長並びに本会女性研究者ネットワークに推薦を依頼する。

第6条 推薦者は、1月末日までに推薦書、推薦理由書、履歴書及び説明資料を会長に提出する。

第7条 本賞候補者の選考は、女性 Analyst 賞審査委員会（以下審査委員会という）において行う。

<以下省略>

2023 年度技術功績賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2023年度の技術功績賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

日本分析化学会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程を参照のうえ、所属支部長又は団体会員（維持会員、特別会員及び公益会員）代表者にお申し出ください。

『技術功績賞 規 程』

第1条 本会に技術功績賞（以下本賞という）を設け、本会会員にして分析技術の向上、あるいは、分析技術による社会的貢献に関し、業績の著しい者の中から、特に優秀なる者にこれを贈呈する。本賞は、本会正会員を中心とするグループに贈呈することもできる。但し、学会賞受賞者及び学会功労賞受賞者は受賞できない。又、同一年度の学会賞及び学会功労賞の受賞候補者となることはできない。

第2条 本賞の贈呈は、毎年3件以内とする。

第3条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。

第4条 本賞を受けた者（グループにおいてはその中心となる者）は、年会において技術功績賞受賞講演を行う。

第5条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。

お知らせ

第6条 会員は、候補者を所属支部の支部長又は団体会員代表者に推薦することができる。

第7条 支部長又は団体会員（維持会員、特別会員及び公益会員）代表者は、候補者を会長に推薦する。

第8条 候補者の推薦に際しては、次の書類、正各1通及び副各1通（但し、説明資料を除く）を1月末日までに会長に提出する。

- a) 推薦書 [所定の用紙], b) 推薦理由書 [A4判用紙を縦（1行45字×40行）に使用し、本文及び業績リスト（主要なもの）はそれぞれ2枚以内で作成すること], c) 被推薦者履歴書 [所定の用紙], d) 説明資料 [特に重要な報告の別刷など審査の参考となる資料]

<以下省略>

[注記]

- 1) 推薦書の団体会員代表者は、本会に登録されている代表者名を記入してください（代表者を変更される場合は、あらかじめ変更届を提出してください）。
- 2) 所定の推薦書類を入用の場合は、返信用封筒（切手120円添付）を同封のうえ、下記技術功績賞係あてにお申し出ください。なお、電子ファイルをご希望の場合は shomu@jsac.or.jp へご連絡ください。
- 3) 推薦書類提出期限：2022年1月末日（郵送の場合は、当日消印のあるものまで受理します）。なお、推薦理由書が規程（上記第8条b）の書式、枚数）に従っていない場合は受理しません。
- 4) 推薦書類提出先：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 公益社団法人日本分析化学会技術功績賞係 [電話：03-3490-3351]

2023年度先端分析技術賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2023年度の先端分析技術賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

標記候補者の推薦を希望される方は下記の規程を参照のうえ、10月末日までに日本分析化学会のいずれかの支部の支部長または研究懇談会の委員長並びに（一社）日本分析機器工業会専務理事（JAIMA 機器開発賞）あてにお申し出ください。

『先端分析技術賞規程』

第1条 本会に先端分析技術賞（以下、本賞という）を設け、先端的分析技術開発（機器開発、分析・評価技術開発、分析用新規物質の開発、など）や実用化において、優秀なる業績と展開性を示した個人あるいはグループにこれを贈呈する。

第2条 本賞は、（一社）日本分析機器工業会（以下 JAIMA という）のスポンサーシップによる JAIMA 機器開発賞によって構成される。

第3条 本賞は、毎年2件以内とする。

第4条 本賞は、賞状、賞牌及び副賞とする。

第5条 本賞を受けた者は、受賞記念講演を行うほか、本会論文集「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。

第6条 本会会長は、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載するとともに JAIMA 機関誌夏号に掲載を依頼する。

第7条 本賞への応募者は自薦・他薦を問わず、本会支部長、本会研究懇談会委員長または JAIMA 専務理事あてに必要な書類を定められた期日までに提出する。

第8条 支部長、研究懇談会委員長または JAIMA 専務理事は、候補者を会長に推薦する。

第9条 候補者の推薦に際しては、次の書類正各1通及び副各1通（但し、説明資料を除く）を1月末日までに会長に提出する。

- a) 推薦書 [所定の用紙], b) 推薦理由書 [A4判用紙を縦（1行45字×40行）に使用し、本文及び業績リスト（主要なもの）はそれぞれ2枚以内で作成すること], c) 被推薦者履歴書 [所定の用紙], d) 説明資料 [特に重要な報告の別刷など審査の参考となる資料]

<以下省略>

☆ ☆

お知らせ

【照会先】支部の推薦委員会並びに研究懇談会宛先は下記のとおりです。

- 北海道支部 : 〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院応用科学部門内
jsac-hb@w9.dion.ne.jp
- 東北支部 : 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07 東北大学大学院環境科学研究科先端環境
創成学専攻
takagai@sss.fukushima-u.ac.jp
- 関東支部 : 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学理工学部分析化学研究室内
jsac-kanto@jsac.or.jp
- 中部支部 : 〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-35-18 中部科学技術センター内
s.matsushita@c-goudou.org
- 近畿支部 : 〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター内
mail@bunkin.org
- 中国四国支部 : 〒739-8526 広島県東広島市鏡山1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科分析化学研究
室内
ishizaka@hiroshima-u.ac.jp
- 九州支部 : 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-35 鹿児島大学大学院理工学研究科
jsac_kyushu@jsac.jp

研究懇談会

- 液体クロマトグラフィー : nakamura@jsac.or.jp
- ガスクロマトグラフィー : satoh@niu.ac.jp
- 高分子分析 : infopacd @ pacd.jp
- X線分析 : xbun@ml.hiroshima-u.ac.jp
- 化学センサー : hisamoto@chem.osakafu-u.ac.jp
- 有機微量分析 : tsakai@meijo-u.ac.jp
- 分析試薬 : ykatatcm@mail.cstm.kyushu-u.ac.jp
- 溶液界面 : sxt@chem.sci.osaka-u.ac.jp
- 電気泳動分析 : esaka@gifu-pu.ac.jp
- イオンクロマトグラフィー : ic@jsac.jp
- フローインジェクション分析 : teshima@aitech.ac.jp
- 環境分析 : tumemura@toyaku.ac.jp
- 表示・起源分析技術 : Ztb10233@nifty.com
- 熱分析 : y24moto@kanagawa-u.ac.jp
- 化学分析技能 : rare_metals@jsac.or.jp
- 溶液反応化学 : yumescc@chem.sc.niigata-u.ac.jp
- 電気分析化学 : maedak@kit.ac.jp
- ナノ・マイクロ化学分析 : tokeshi@eng.hokudai.ac.jp
- バイオ分析 : cmsato@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
- スクリーニング分析 : tsugoshi@aist.go.jp ; tsugoshi.takahisa@gmail.com

(一社) 日本分析機器工業会専務理事宛先

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル3F

他機関の賞及び助成金の候補者募集

本会は、他機関が贈呈する賞などに会員諸氏の優れた研究業績を推薦するための委員会を設けております。本会の推薦を希望される方は、所定の申請用紙（授賞団体に請求）に記入のうえ、本会締切日までに下記にお申し込みください。同委員会は、申請内容を審査のうえ、当該機関に推薦します。内容の詳細については、下記の授賞団体にお問い合わせいただくか、授賞団体のホームページをご覧ください。本会締切日のないものは、直接授賞団体に提出してください。

公益財団法人旭硝子財団研究助成

助成団体：（公財）旭硝子財団（〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ2F、電話：03-5275-0620、E-mail：post@af-info.or.jp、URL=http://www.af-info.or.jp）〈締切日〉8月～9月。〈助成件数〉85件程度。〈助成金額〉2億3,000万円。〈助成対象・資格〉化学・生命、物理・情報、建築・都市工学、人文・社会科学、環境フィールドの研究。国内の大学とその附置研究所、大学共同利用機関、高等専門学校に勤務する常勤の研究者。詳細は財団ホームページに記載。

ブループラネット賞

授賞団体：（公財）旭硝子財団（同上）〈締切日〉10月。〈授賞件数〉2件〈賞金額〉5,000万円/件。〈対象・資格〉地球環境問題の解決に向けて科学技術の面で著しい貢献をした個人または組織。

井上學術賞・井上研究奨励賞

授賞団体：（公財）井上科学振興財団（〒150-0036 東京都渋谷区南平台町15-15 南平台今井ビル601、電話：03-3477-2738、URL=http://www.inoue-zaidan.or.jp）〈締切日〉4月～9月。〈授賞件数〉井上學術賞5件以内、井上研究奨励賞40件〈副賞〉井上學術賞200万円/件、井上研究奨励賞50万円/件。〈助成対象・資格〉井上學術賞：自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた50歳未満の研究者、井上研究奨励賞：過去3年間に、理学・工学・医学・薬学・農学等の分野で博士の学位を取得した37歳未満の研究者で、優れた博士論文を提出した若手研究者。推薦方法、書式は財団ホームページに記載。

井上リサーチアワード

授賞団体：（公財）井上科学振興財団（同上）〈締切日〉7月30日。〈授賞件数〉4名以内。うち、1名以上を女性研究者とする。〈助成額〉500万円/人。〈助成対象〉自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、更に開拓的發展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援する目的とし、これまでの成果を踏まえ、単独で又は共同研究者の協力を得て行う将来性豊かな研究計画を対象として助成する。〈資格〉博士の学位取得後9年未満の研究者。申請方法、書式は財団ホームページに記載。

岩谷直治記念賞

授賞団体：（公財）岩谷直治記念財団（〒104-0028 東京都中央区八重洲2-4-11 八重洲h+ビル3F、電話：03-6225-2400、http://www.iwatani-foundation.or.jp/）〈締切日〉8月31日。〈授賞件数〉2件以内。〈副賞金額〉500万円。〈対象分野・資格〉学会・協会およびその他研究機関等において、次の項目に関し優れた技術開発が既に完成し、かつ顕著な産業上の実績があると認められた業績：生産プロセスの合理化によるエネルギーの有効利用・効果的な環境保全の達成、エネルギーおよび環境に関する独創的技術の開発と顕著な産業上の実績、エネルギー及び環境に関連した新素材・バイオ新技術及びエレクトロニクス新技術の開発と顕著な産業上の実績。

岩谷科学技術研究助成

助成団体：（公財）岩谷直治記念財団（同上）〈締切日〉7月31日。〈助成件数〉65件程度。〈助成金額〉200万円/件。〈対象分野・資格〉エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究。研究課題次の分野：再生可能エネルギー源、将来に期待される燃料、エネルギーの変換・輸送・利用の高効率化・合理化など、エネルギー材料、低温の利用、環境保全・地球温暖化防止・エネルギー利用上の安全性。

一般財団法人材料科学技術振興財団山崎貞一賞

授賞団体：（一財）材料科学技術振興財団山崎貞一賞事務局（〒157-0067 東京都世田谷区喜多見1-18-6、電話：03-3415-2200、E-mail：prize@mst.or.jp、URL=https://www.mst.or.jp/Portals/0/prize/index.html）〈募集期間〉3月15日～4月30日。〈授賞件数〉各分野1件以内。〈賞金額〉300万円/件（その他に賞状）。〈授賞対象〉第22回「材料」「半導体及びシステム・情報・エレクトロニクス」。対象分野は「材料」「半導体及びシステム・情報・エレクトロニクス」「計測評価」「バイオ・医科学」の4分野からなり、隔年で2分野ずつ募集。日本国内で研究開

お知らせ

発を実施し、論文の発表、特許の取得、方法・技術の開発等を通じて、実用化につながる優れた創造的業績をあげている人（複数人可、総計3名以内）。

島津賞

表彰団体：（公財）島津科学技術振興財団（〒604-8445 京都府京都市中京区西ノ京徳大寺町1、電話：075-823-3240、E-mail：ssf@zaidan.shimadzu.co.jp、URL = <https://www.shimadzu.co.jp/SSF>）〈締切日〉7月31日。〈表彰件数〉1件。〈賞金額〉500万円。〈表彰対象〉科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において、著しい成果をあげた功労者。

島津奨励賞

表彰団体：（公財）島津科学技術振興財団（同上）〈締切日〉7月31日。〈表彰件数〉3件以下。〈賞金額〉100万円。〈表彰対象〉科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において独創的成果をあげかつその研究の発展が期待される45歳以下の研究者。

島津科学技術振興財団研究開発助成

助成団体：（公財）島津科学技術振興財団（同上）〈締切日〉7月31日。〈助成対象・資格〉科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究を対象とし、国内の研究機関に所属する45歳以下（募集開始4月1日時点）の研究者に助成する。〈助成件数・金額〉（1）科学計測に係る領域全般：20名、総額2,000万円、（2）科学計測に係る新分野3名以下、総額300万円以下。（2）の対象分野は毎年度、当財団が設定する。

猿橋賞（本会締切日：9月30日）

授賞団体：（一財）女性科学者に明るい未来をの会（〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-49-7 池袋パークビル1F インスクエア内、E-mail：saruhashi2021@saruhashi.net、URL = <http://www.saruhashi.net>）〈締切日〉11月30日。〈授賞件数〉1件。〈賞金額〉30万円。〈助成対象・資格〉自然科学の分野で顕著な業績をおさめた女性科学者。50歳未満で国内に在住・在職の女性研究者。

公益社団法人石油学会研究助成

助成団体：（公社）石油学会（〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-8-4 陽友神田ビル4F、電話：03-6206-4301、URL = <https://sekiyu-gakkai.or.jp/jp/natural/supportcode.html>）〈締切日〉11月30日。〈助成件数〉4件以内。〈助成金額〉100万円以内/件。〈助成対象〉石油、天然ガスをはじめとするエネルギー、石油化学関連の目的基礎研究および応用的研究ならびに開発で、工業化への応用可能性を有するもの。〈資格〉日本国内の大学、工業高等専門学校など研究機関に所属する若手研究者で満40歳未満の者又はグループ。

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団研究助成

助成団体：（公財）ソルト・サイエンス研究財団（〒106-0032 東京都港区六本木7-15-14 塩業ビル3F、電話：03-3497-5711、E-mail：saltscience@saltscience.or.jp、URL = <http://www.saltscience.or.jp>）〈応募期間〉2020年10月25日～11月25日。〈助成件数・金額〉（1）一般公募研究：43件程度、120万円以下/件、（2）プロジェクト研究：5件程度、年間100～200万円/件（助成対象）一般公募研究：理工学、医学及び食品科学の3分野で塩に関する研究。プロジェクト研究：理工学、医学及び食品科学の各分野で、年度ごとに分野とプロジェクト研究課題を定め募集。〈資格〉日本国内の大学、公的研究機関等で研究に携わる者（学生・研究生等を除く）。

鉄鋼研究振興助成

助成団体：（一社）日本鉄鋼協会（〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館5F、電話：03-3669-5932、E-mail：josei@isij.or.jp、URL = <http://www.isij.or.jp/subcommittee/promotion/shinkou2020.html>）〈応募期間〉7月1日～7月22日。〈助成件数〉35件。内、20件程度は若手を優先。〈助成金額〉100～300万円/件。助成金総額年間6,000万円。〈助成対象〉鉄鋼および鉄鋼に関連する材料・プロセスに関する分野の学術及び技術の発展に寄与する研究。〈応募資格〉研究期間中、日本の国立大学、公私立大学、工業高等専門学校等の教育機関に所属し、本国内で研究に従事する研究指導者。

公益財団法人鉄鋼環境基金 環境研究助成

助成団体：（公財）鉄鋼環境基金（〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6F、電話：03-5652-5144、E-mail：sept.senmu@sept.or.jp、URL = <http://www.sept.or.jp/>）〈応募期間〉4月1日～5月下旬。〈助成件数〉40～45件程度。〈助成金額〉（1）一般150万円以下/件（2）若手100万円以下/件。〈助成対象〉鉄鋼製造に関連する環境保全技術課題に関する研究。〈資格〉原則として、日本国内にある組織に所属する研究者。詳細は鉄鋼環境基金ホームページに掲載の募集要綱を参照。

東急財団研究助成

授賞団体：(公財) 東急財団 (〒150-8511 東京都渋谷区南平台町 5-6, 電話：03-3477-6301, E-mail：foundation@tkk.tokyu.co.jp, URL = <https://foundation.tokyu.co.jp>) 〈締切日〉2021 年度の研究助成の公募を休止。〈助成件数〉未定。〈助成金額〉未定。〈助成対象〉未定。新たなミッションである「地域社会の持続可能な発展」を踏まえ、2022 年度に向けて「地域の環境課題解決への貢献」を軸とする新しい助成テーマの検討を進める〈資格〉未定。新助成テーマによる公募開始は、内容が決定次第ホームページで案内。

東急財団社会貢献環境学術賞

授賞団体：(公財) 東急財団 (同上) 〈締切日〉推薦公募を休止中。〈授賞件数〉未定。〈賞金額〉未定。〈対象・資格〉顕彰の開始より 10 余年が経過した現在、学術・研究を取り巻く状況の変化を踏まえ、新しい顕彰テーマの検討を進める為、推薦公募内容が決定後案内予定。

東レ科学技術研究助成

授賞団体：(公財) 東レ科学振興会 (〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-3-16, 電話：03-6262-1655, URL = <http://www.toray-sfor.jp/>) 〈締切日〉10 月上旬 〈助成件数〉10 件程度。〈助成金額〉3,000 万円程度/1 件。総額 1 億 3 千万円。〈助成対象・資格〉国内の研究機関において理学・工学・農学・薬学・医学 (除・臨床医学) の分野で自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者 (原則として推薦時 45 歳以下)。

東レ科学技術賞

授賞団体：(公財) 東レ科学振興会 (同上) 〈締切日〉10 月上旬。〈授賞件数〉2 件以内。〈賞金額〉500 万円。〈授賞対象・資格〉理学・工学・農学・薬学・医学 (除・臨床医学) 関係で、学術上の業績が顕著な方、学術上重要な発見をした方、効果が高い重要な発明をした方、技術上重要な問題を解決し、技術の進歩に大きく貢献した方。

中谷賞

授賞団体：(公財) 中谷医工計測技術振興財団 (〒141-0032 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー 8F, 電話：03-5719-2125, E-mail：info-award@nakatani-foundation.jp, URL = <http://www.nakatani-foundation.jp>) 〈締切日〉9 月 27 日 〈授賞件数〉大賞 1 件、奨励賞 2 件。〈賞金額〉大賞 1,000 万円、奨励賞 300 万円/件。〈表彰対象・資格〉大賞：医工計測技術について優れた業績を挙げ、現在でも活発な研究活動を行っている研究者。奨励賞：医工計測技術について独創的な研究を行い、将来有望な研究者で応募締切時 45 歳以下 (推薦が必要)。

中谷医工計測技術振興財団研究助成

授賞団体：(公財) 中谷医工計測技術振興財団 (同上) 医工計測および関連技術の研究分野で助成を行います。詳細は財団ホームページから募集要綱を参照。研究助成：〈応募期間〉6 月 1 日～9 月下旬 【長期大型研究】〈件数〉1 件 〈助成金額〉最大 6,000 万円を最長 5 年間 (総額 3 億円)。【特別研究】〈件数〉3 件程度 〈助成金額〉最大 2 年間 3,000 万円。【開発研究】〈件数〉20 件程度 〈助成金額〉最大 500 万/1 件。【奨励研究】〈件数〉30 件程度 〈助成金額〉200 万円/1 年間、400 万円/2 年間。【調査研究助成】〈件数〉5 件程度 〈助成金額〉2 年間で最大 300 万円。交流助成：〈応募期間〉募集要綱を参照。【海外派遣】〈助成金額〉1 週間程度上限 40 万円。【日本招聘】〈助成金額〉1 週間程度上限 50 万円。【海外留学】〈助成金額〉滞在費月額 25 万円 + 渡航費上限 30 万円 1 週間程度上限 40 万円。【日本留学】〈助成金額〉滞在費月額 20 万円/1 年以上最大 2 年間。

笹川科学研究助成

助成団体：(公財) 日本科学協会 (〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5F, 電話：03-6229-5365, E-mail：josei@jss.or.jp, URL = <https://www.jss.or.jp>) 〈締切日〉10 月 15 日 (予定)。〈助成件数〉321 件 (2021 年度実績)。【学術研究部門】〈助成対象・資格〉課題の設定が独創性・萌芽性をもつ研究、発想や着眼点が従来にない新規性をもつ研究。人文・社会系/数物・工学系/化学系/生物系/複合系 (各系に海洋関連研究を含む、ただし医学系を除く)。35 歳未満の大学院生、雇用研究者 (非常勤、任期付き)。〈助成額〉最大 100 万円/1 件。【実践研究部門】〈助成額〉最大 50 万円/1 件。〈助成対象・資格〉①学校、NPO などに所属している方等、活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究。②学芸員・司書等、博物館や図書館等の生涯学習施設の、活性化に資するために行う調査・研究。

ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞

授賞団体：(一社) 日本ゴム協会 (〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル 1F, 電話：03-3401-2957,

お知らせ

E-mail : office@srij.or.jp, URL = <http://www.srij.or.jp/> (締切日) 11月30日. (授賞件数) 3件以内. (賞金額) フロンティア賞 1件 50万円, 奨励賞 2件以内, 25万円/件. (表彰対象・資格) ゴムおよび将来ゴム技術・ゴム産業に貢献しうる関連分野での先端的研究. 45歳以下の者で本会会員に限定しない.

バイオインダストリー大賞

授賞団体 : (一財) バイオインダストリー協会 (〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビルディング 8F, 電話 : 03-5541-2731, E-mail : award2022@jba.or.jp, URL = <https://www.jba.or.jp>) (締切日) 5月6日. (授賞件数) 1件. (賞金額) 300万円/件. (対象案件) バイオサイエンス, バイオテクノロジーおよびバイオインダストリー分野における自然科学および人文・社会科学領域の研究・技術開発および産業化推進活動で, バイオインダストリーの発展に大きく貢献した, または今後の発展に大きく貢献すると期待される業績. (対象者) 個人, 企業, 少人数の組織・グループ. 年齢および所属を問わない.

バイオインダストリー奨励賞

授賞団体 : (一財) バイオインダストリー協会 (同上) (締切日) 5月6日. (授賞件数) 10件程度. (賞金額) 30万円/件. (対象案件) 持続的な社会と未来に貢献するバイオテクノロジー, バイオサイエンスに関連する応用を指向した優れた研究などを行っている有望な研究者とその研究業績を対象. 応用の対象分野は, 生物機能を利活用した生産や環境改善, 健康・医療等に関わる分野で, 化学・材料・環境・エネルギー等に関連したバイオプロセス, 発酵生産, 食品, 農林水産業, 健康・栄養, ヘルスケア・医薬など. (対象者) 次の全ての要件に該当すること. 1) 大学, 公的研究機関, 非営利の社団法人・財団法人の研究者, 個人での応募に限る, 2) 当該年度の4月1日において45歳未満の者, 3) 本賞授与の時点で本財団の個人会員であること.

三島海雲学術賞

授賞団体 : (公財) 三島海雲記念財団 (〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-6-10 ジラッフアビル, 電話 : 03-5422-9898, E-mail : mishimak15@mishima-kaiun.or.jp, URL = <https://www.mishima-kaiun.or.jp>) (締切日) 9月末. (授賞件数) (1) 自然科学部門 2件以内, (2) 人文科学部門 (1件以内). (賞金額) 300万円/件. (授賞対象) (1) 「食の科学」に関する研究 : 食品素材, 製造・加工・調理, 発酵・微生物利用, 栄養・嗜好・生理機能, 食の安全, 疾病予防などに係る研究 (2) 「アジア地域」の歴史を中心とする人文科学に関する研究 (但し日本を中心とする研究は除く.) (資格) 45歳未満の者 (受賞年4月1日現在). 当財団が依頼する学会, 大学等研究機関より推薦された候補者.

三島海雲記念財団学術研究奨励金 (研究助成)

助成団体 : (公財) 三島海雲記念財団 (同上) (締切日) 2月末日. (助成件数) 自然科学部門 (A) 個人研究奨励金 70件程度. (B) 共同研究奨励金 4~5件程度. (助成金額) (A) 100万円/件 (総額 7,000万円程度), (B) 200~500万円/件 (総額 2,000万円程度). (助成対象) 食の科学に関する学術研究. (応募資格) 日本在住の研究者 (国籍は問わず), 並びに海外在住の日本人研究者.

問合せ・本会書類提出先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304号
公益社団法人日本分析化学会他機関賞係 [電話 : 03-3490-3351]

2022年度液体クロマトグラフィー分析士 四段認証試験

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2022年10月3日(月)14時~15時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

四段資格のイメージ 「学会発表、投稿を通して、技術的議論が行え、講習会の講師が務まるレベル。また、当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し、博士の学位に相当する学識経験を有する。」

分析士四段認証試験 分析士四段試験では書類選考試験(事前提出)と筆記試験(記述式)とを総合して合否を決定します。書類選考資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LCに関する研究・業務経験、⑦論文発表(適当数)、⑧口頭発表(適当数)、⑨学位の有無、⑩LC分析士三段の登録番号、⑪その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には、1)英文和訳問題、2)与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題、の2題が出題され90分以内に解答していただきます。

受験料 8,800円(合格者は登録料5,500円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士三段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料を銀行振込後、書類選考資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 9月26日(月)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義:(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

資料送付先・問合先 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係(E-mail:nakamura@jsac.or.jp)

2022年度液体クロマトグラフィー分析士 五段認証試験

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2022年10月4日(火)14時~15時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

五段資格のイメージ 「分析士を育成・指導できるレベル(師範)。論文の査読・指導、学位論文の審査、国際会議において存在価値が評価される質疑応答ができる。」

分析士五段認証試験 分析士五段試験では書類選考試験(事前提出)、筆記試験(記述式)及び面接試験を総合して合否を決定します。書類選考資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LCに関する研究・業務経験、⑦論文発表(適当数)、⑧学位の有無、⑨講習会・講演会における講師等の実績、⑩論文査読の経験、⑪学位論文審査の経験、⑫組織委員・実行委員等の実績、⑬国際会議における座長・依頼講演等の実績、⑭LC分析士四段の登録番号、⑮その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には、与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題が出題され90分以内に解答していただきます。面接試験は筆記試験後に

30分程度行います。

受験料 9,900円(合格者は登録料6,600円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士四段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、書類選考資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 2022年9月27日(火)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義:(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

資料送付先・問合先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係(E-mail:nakamura@jsac.or.jp)

2022年度LC/MS分析士 四段認証試験実施のお知らせ

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2022年10月6日(木)14時~15時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

四段資格のイメージ 「学会発表、投稿を通して、技術的議論が行え、講習会の講師が務まるレベル。また、当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し、博士の学位に相当する学識経験を有する。」

分析士四段認証試験 分析士四段試験では書類選考試験(事前提出)と筆記試験(記述式)とを総合して合否を決定します。書類選考資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LC/MSに関する研究・業務経験、⑦論文発表(適当数)、⑧口頭発表(適当数)、⑨学位の有無、⑩LC/MS分析士三段の登録番号、⑪その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には、1)英文和訳問題、2)与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題、の2題が出題され90分以内に解答していただきます。

受験料 8,800円(合格者は登録料5,500円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士三段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料を銀行振込後、書類選考資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 9月29日(木)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義:(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

資料送付先・問合先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係(E-mail:nakamura@jsac.or.jp)

2022年度LC/MS分析士 五段認証試験実施のお知らせ

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2022年10月7日(金)14時~15時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ 303 号室)

五段資格のイメージ 「分析士を育成・指導できるレベル (師範)。論文の査読・指導, 学位論文の審査, 国際会議において存在価値が評価される質疑応答ができる。」

分析士五段認証試験 分析士五段試験では書類選考試験 (事前提出), 筆記試験 (記述式) 及び面接試験を総合して可否を決定します。書類選考用資料 (体裁は自由) には, ①氏名, ②生年月日, ③現職, ④学歴, ⑤職歴, ⑥ LC/MS に関する研究・業務経験, ⑦論文発表 (適当数), ⑧学位の有無, ⑨講習会・講演会における講師等の実績, ⑩論文査読の経験, ⑪学位論文審査の経験, ⑫組織委員・実行委員等の実績, ⑬国際会議における座長・依頼講演等の実績, ⑭ LC/MS 分析士四段の登録番号, ⑮その他, 特記事項, をこの順で記載し, 申込締切日までに下記資料送付先にお送りください (お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には, 与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題, が出題され 45 分以内に解答していただきます。面接試験は筆記試験後に 30 分程度行います。

受験料 9,900 円 (合格者は登録料 6,600 円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われた LC/MS 分析士四段試験に合格し, 登録された方に限ります。

申込方法 受験料を銀行振込後, 書類選考用資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 9 月 30 日 (金)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金 0802349 名義: (公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお, 一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は, 次回の実験料を免除します。

資料送付先・問合せ先 (公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係 (E-mail: nakamura@jsac.or.jp)

2022 年度第 2 回近畿支部講演会

主催 (公社) 日本分析化学会近畿支部, 近畿分析技術研究懇談会

期日 2022 年 7 月 15 日 (金) 15:00~17:00

会場 大阪科学技術センター 7 階 700 号室 [大阪市西区靱本町 1-8-4, 電話: 06-6443-5324, 交通: 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車, 北へ徒歩約 7 分, うつほ公園北詰]

講演

- 金属材料の計測に用いる電解液の探索: 脱既存法 (15:00~16:00)
(住友電工プリントサーキット(株) 中山茂吉)
- 「地球温暖化」から「イオン溶媒和」まで (16:00~17:00)
(神戸大学) 大塚利行

参加費 無料

参加申込 標記行事名を題記し, (1) 氏名, (2) 勤務先 (所属), (3) 連絡先を記入の上, 下記申込先へ FAX または E-mail にてお申し込みください。なお, 参加証は発行いたしませんので, 当日は直接会場にお越しください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 (公社) 日本分析化学会近畿支部 [電話: 06-6441-5531, FAX: 06-6443-6685, E-mail: mail@bunkin.org]

※新型コロナウイルスの影響により, 延期やオンライン開催等に変更する可能性があります。変更などの詳細は, 近畿支部ホームページ (<http://www.bunkin.org/>) にてご確認ください。

第 10 回 Chem-Bio Joint Seminar 2022 見えないものを見る化する DNA-assisted Detection Technology

主催 (公社) 日本分析化学会バイオ分析研究懇談会
期日 2022 年 8 月 9 日 (火) 13:00~17:30

会場 東京大学駒場 I キャンパス・21COMCEE West K001, 003 [東京都目黒区駒場 3-8-1]

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_55_j.html

内容 招待講演, ポスター発表, 口頭発表

プログラム

13:00 開会: 合同ゼミの趣旨説明・参加研究室の紹介

13:10 頃~ 招待講演 1:

DNA サーキットを基盤としたナノシステムによる酵素および装置フリーな「その場」バイオセンシングへの挑戦 (筑波大学・大石 基先生)

13:50 頃~ 招待講演 2:

核酸の連鎖的鎖交換反応を利用した情報変換・増幅~血中循環腫瘍細胞の高感度検出を目指して~ (熊本大学・北村裕介先生)

15:30 頃~ ポスター発表

16:30 頃~ 口頭発表

17:30 頃~ 閉会

参加費 学生・無料, 一般・5,000 円

申込締切日 7 月 26 日 (火)

参加・発表申込方法 下記 URL よりお申込みください。

<https://forms.gle/U6G4odn5b7NUhMpe8>

問合せ先 〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻生命環境科学系 吉本研究室 バイオ分析研究懇談会事務局 [E-mail: info_bioanalysis@webpark1724.sakura.ne.jp]

詳細は日本分析化学会バイオ分析研究懇談会 HP (只今準備中) にも掲載予定です。

第 39 回分析化学中部夏期セミナー

主催 (公社) 日本分析化学会中部支部

期日 2022 年 8 月 26 日 (金)・27 日 (土)

会場 石川県青少年総合研修センター [石川県金沢市常盤町 212-1, 電話: 076-252-0666, 交通 車: 北陸道「金沢森本 IC」から約 10 分, 電車: JR 北陸本線「金沢駅」下車, 北鉄バス 93 番で「鈴見台 1 丁目」下車徒歩 7 分, 90 番で「天神橋」下車徒歩 10 分]

<http://www.ishikawa-seisoken.jp>

目的 分析化学および関連分野に携わる研究者間の交流と親睦を図るとともに, 若手研究者の育成と研究発展の一助とする。新型コロナウイルス感染拡大防止策の上で実施する。

プログラム

第 1 日 (8 月 26 日) (13:00~18:00 頃)

第 2 日 (8 月 27 日) (9:00~12:00)

閉会式・昼食 (希望者のみ) 後に解散

定員 90 名

申込先 以下のフォームに入力・送信:

<https://forms.gle/VYaX4FjH7i2Aizk8A>

問合せ先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域物質化学系 環境・分析化学研究室 長谷川浩 [電話: 076-234-4792, E-mail: hhiroshi@se.kanazawa-u.ac.jp]

入門触媒科学セミナー

主催 (一社) 近畿化学協会触媒・表面部会
 協賛 (公社) 日本分析化学会近畿支部ほか
 期日 2022年10月11日(火)・12日(水)
 会場 大阪科学技術センター 4階 401号室
 プログラム

- 第1日(11日)10時~17時
1. 開会挨拶(阪大院基礎工) 満留敬人
 2. 触媒科学の基本概念—これだけは知っておこう—(関西大環境都市工) 池永直樹
 3. 遷移金属錯体触媒—錯体の基礎と有機合成触媒反応—(奈良女大院自然) 浦 康之
 4. 固体表面の酸・塩基点とその触媒機能(徳島大院社会産業理工) 山本 孝
- 第2日(12日)10時~17時
5. 金属酸化物触媒—多様な触媒機能の宝庫—(京都工繊大材料化学系) 細川三郎
 6. 金属ナノ粒子触媒—構造と触媒作用及び設計法—(阪大院基礎工) 満留敬人
 7. 触媒調製化学—基礎から最近のナノ構造触媒まで—(阪大院工) 森 浩亮
 8. 閉会挨拶(阪大院基礎工) 満留敬人

参加費・申し込み方法 詳細は
<https://kinka.or.jp/catalytic/>をご参照ください。

申込締切 9月15日(木)

申込・問合せ先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 近畿化学協会触媒・表面部会〔電話:06-6441-5531, FAX:06-6443-6685, E-mail: catal@kinka.or.jp〕

第58回 X線分析討論会

主催 (公社) 日本分析化学会 X線分析研究懇談会
 共催 (公社) 日本分析化学会近畿支部
 期日 2022年11月10日(木)・11日(金)
 会場 イーグレひめじ〔兵庫県姫路市本町68番290〕

討論主題 「ポストコロナ時代のX線分析の在り方」をサブタイトルに、次の5点に関係する発表を募集する。

- (1) X線分析の自動化、計算科学との融合
- (2) X線要素機器の開発とX線分析への展開
- (3) X線分析による材料解析とその応用展開
- (4) X線イメージングおよび顕微解析
- (5) 他の量子ビーム利用解析との融合

講演申込期間 7月4日(月)~8月5日(金)
 ・講演内容は未発表のものに限ります。

講演要旨受付期間 8月22日(月)~9月30日(金)

事前参加申込期間 9月5日(月)~10月28日(金)

参加登録料

- 一般予約 4,500円(会員*), 5,500円(非会員)
 一般当日 6,000円(会員*), 7,000円(非会員)
 学生予約 2,000円, 学生当日 3,000円
 (*協賛学会員を含む)

詳細については、討論会 Web サイト

<https://xbun.jsac.jp/conference/no58.html> をご覧ください。

連絡先 〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1 (公財) 高輝度光科学研究センター 上原 康〔電話:0791-58-2706, E-mail: x58.himeji@gmail.com〕

ナノ材料の表面分析講習

主催 (一社) 近畿化学協会触媒・表面部会
 協賛 (公社) 日本分析化学会近畿支部ほか
 期日 2022年11月24日(木)・25日(金)
 会場 近畿大学
 プログラム

- 第1日(24日)9:30~17:30
- 開会挨拶(近大理工) 古南 博
1. 表面分析概論(近大理工) 古南 博
 2. 組成分析(AAS, ICP-AES, XRF)(阪公大院工) 亀川 孝
 3. 光電子分光法(XPS, UPS)(阪公大院工) 堀内 悠
 4. X線回折(XRD)(阪公大人工光合成研究センター) 東 正信
 5. 紫外可視・光ルミネセンス(UV-vis, PL)(京大院人環) 山本 旭
 6. 顕微鏡(TEM・SEM・STM・AFM)(近大理工) 田中淳皓
 7. 昇温スペクトル(TPD, TPR)(阪大院工) 桑原泰隆
- 第2日(25日)9:30~16:45
8. X線吸収微細構造(XAFS)(近大理工) 朝倉博行
 9. 電子スピン共鳴(ESR)(阪公大院工) 松岡雅也
 10. 核磁気共鳴(NMR)(阪大院基礎工) 水垣共雄
 11. 赤外・ラマンスペクトル(FT-IR, Raman)(関大環境都市工) 福康二郎
 12. 質量分析(MS)(神戸大院工) 谷屋啓太
 13. 総論・ケーススタディー(阪公大人工光合成研究センター) 吉田朋子

閉会挨拶(近大理工) 古南 博

参加費・申込方法 詳細は

<https://kinka.or.jp/catalytic/>をご参照ください。

申込締切 11月2日(水)

申込・問合せ先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 近畿化学協会触媒・表面部会〔電話:06-6441-5531, FAX:06-6443-6685, E-mail: catal@kinka.or.jp〕

——以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第4回使えるセンサ・シンポジウム2022 (同時開催：第4回使えるセンサ技術展2022)

主催 (一社) センサイト協議会使えるセンサ・シンポジウム実行委員会
期日 2022年7月20日(水)・21日(木)
会場 マイドームおおさか
ホームページ <http://sensait.jp/stc/symposium/>
連絡先 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-5 オプトロニクス社気付 STC2022 運営事務局〔電話：03-3269-3550, FAX：03-5229-7253〕

第25回 XAFS 討論会

主催 日本 XAFS 研究会
期日 8月2日(火)~4日(木)
会場 サンメッセ鳥栖 ハイブリッド開催 (Zoom)
ホームページ <https://www.jxafs.org/conference/jxafs25/>
連絡先 第25回 XAFS 討論会実行委員会 [E-mail: JXAFS25@gmail.com]

第10回対称性・群論トレーニングコース

主催 日本結晶学会
期日 2022年8月22日(月)~26日(金)
会場 高エネルギー加速器研究機構つくばキャンパス
ホームページ <http://pfwww.kek.jp/trainingcourse/>
連絡先 対称性・群論トレーニングコース事務局 高橋良美 [E-mail: tyoshimi@post.kek.jp]

2022年度日本地球化学会第69回年会

主催 (一社) 日本地球化学会
期日 2022年9月5日(月)~16日(金)
会場 高知大学朝倉キャンパス会場およびオンライン会場のハイブリッド開催
ホームページ <http://www.geochem.jp/meeting/index.html>
連絡先 名古屋大学大学院環境学研究所地球環境科学専攻 浅原良浩 [E-mail: affairs@geochem.jp]

第38回近赤外フォーラム

主催 近赤外研究会
期日 2022年11月15日(火)~17日(木)
会場 東京大学弥生講堂
ホームページ <https://jcnirs.org/>
連絡先 〒305-8642 茨城県つくば市観音台2-1-12 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門内 近赤外研

究会事務局 [電話：029-838-8023, FAX：029-838-7996, E-mail: office@jcnirs.org]

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

第82回分析化学討論会では、「環境における放射性物質と分析化学」、「量子ビームと分析化学」、「地域から世界へ発信する電気分析化学」、「ヘルスケアと分析化学」、「内山一美先生を偲ぶ」の5テーマを討論主題として取り上げました。また、討論主題以外に、公開シンポジウムとして、「食の安全と分析化学」を開催しました。

「分析化学」誌では、毎年第12号に分析化学討論会特集号として、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載しております。2022年度分析化学討論会特集号では、「未来を拓く分析化学～環境・資源・医療・食料問題等への挑戦」をテーマとし、第82回分析化学討論会で設けた討論主題5テーマと公開シンポジウムに関する論文を広く募集します。多数のご投稿をお待ちしております。詳細は「分析化学」71巻6号及びホームページをご覧ください。

特集論文の申込締切：2022年7月8日(金)

特集論文の原稿締切：2022年8月12日(金)

「分析化学」年間特集“流”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画し2023年は「流」をテーマとすることと致しました。

本特集では「流」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第72巻(2023年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「流」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしております。なお、詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページをご参照ください。

特集論文の対象：「流」に関連した分析化学的な基礎・応用研究に関する論文。

特集論文申込締切：2022年7月15日(金) (第1期)

特集論文原稿締切：2022年8月19日(金) (第1期)

「分析化学」編集委員会特集

“ウェルネスに貢献する分析化学”の論文募集

「分析化学」編集委員会

2023年度(第72巻第6号)の「編集委員会特集」のテーマは、『ウェルネスに貢献する分析化学』に決定いたしました。

本特集では、ウェルネスに貢献する分析化学と題し、医療、福祉、スポーツ、食と農、美容、環境、IT等の様々な分野における分析化学を対象とした研究に着目することと致しました。ウェルネスに関連した、新たなサイエンスを切り拓くための基盤技術、およびその応用に関する論文の投稿をお待ちしております。なお、詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページをご参照ください。

特集論文申込締切：2022年10月7日(金)

特集論文原稿締切：2022年12月2日(金)

日本分析化学会第71年会 —オンライン参加予約申込方法—

標記年会は下記のように開催します。本年会に参加される方は、全員参加登録をしていただきます。年会当日に参加登録証を提示されない方の入場は、固くお断りします。本年会ではオンライン参加申込登録システム（以下、参加登録システムと略）を使用します。参加登録は、必ず参加登録システムをご使用ください。参加登録の詳細は第71年会ホームページ（以下、年会HPと略）を参照ください。講演要旨集は冊子体から電子配布に変更しています。公開日は別記を参照ください。講演プログラム集は年会当日に参加者にお渡しいたします。

【日本分析化学会第71年会実行委員会 Web サイト】

<https://confit.atlas.jp/jsac71nenkai>

主催 (公社) 日本分析化学会
会期 2022年9月14日(水)～16日(金)
日程

9月14日(水):一般講演(口頭,ポスター),若手講演(ポスター),テクノレビュー講演(口頭,ポスター),受賞講演,研究懇談会講演,産業界シンポジウム,産官学連携カフェ,ランチョンセミナー,機器展示会
9月15日(木):一般講演(口頭,ポスター),若手講演(ポスター),テクノレビュー講演(口頭,ポスター),受賞講演,研究懇談会講演,学会賞等授賞式,学会賞受賞講演,懇親会,ランチョンセミナー,機器展示会
9月16日(金):一般講演(口頭,ポスター),若手講演(ポスター),テクノレビュー講演(口頭,ポスター),受賞講演,研究懇談会講演,ランチョンセミナー,機器展示会

注)日程は変更する場合があります。

会場 岡山大学津島キャンパス〔岡山市北区津島中1-1-1,交通:JR法界院駅より徒歩約10分,または,JR岡山駅より岡電バス約7~10分,岡山空港より岡電バスJR岡山駅または岡山大学筋下車(ノンストップ便は岡山駅下車)〕

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html

懇親会 9月15日(木)18時~20時(予定)

会場 ホテルグランヴィア岡山〔岡山市北区駅元町1番5,電話:086-234-7000(代表),JR岡山駅直結〕

【事前参加登録申込方法】

以下の注意事項を熟読のうえ、申込締切期日までに事前参加登録してください。参加登録の詳細は年会HPを参照ください。Web参加予約申込のお支払最終締切日は8月31日(水)です(クレジット決済または銀行振込)。

1. 参加証兼領収証は、事前に年会HPからダウンロード後、印刷してご持参ください。
2. 懇親会に参加される方は、できるだけ予約してください。会期中は、定員に余裕のある場合のみ受け付けます。
3. 参加登録料などの諸費用は、一切返金できません。
4. 事前参加登録申込締切日後の申し込みは、会期中会場を受け付けます。支払方法は原則としてクレジット決済のみです。申込締切日後の申し込み及び送金は、固くお断りします。万一送金があった場合は、送金手数料を差し引きのうえ、ご返金いたしますのであらかじめご了承ください。
5. 見積書、納品書、請求書は、原則として発行致しません。必要な方は、申込者において所定の書類を作成のうえ、返信用封筒(切手貼付)を同封して第71年会実行委員会事務局あてお送りください。記名、捺印のみして返送いたします。電話、メールでの書類作成依頼には応じかね

ます。

【事前参加登録申込締切日】

銀行振込・クレジット決済 Web 申込締切:8月31日(水)
決済開始日は8月1日(月)を予定しております。

【参加登録料、懇親会参加費】

1. 参加登録料
事前:会員12,000円,学生会員4,000円,会員外21,000円,会員外学生7,000円
〔通常:会員15,000円,学生会員6,000円,会員外24,000円,会員外学生8,000円〕
2. 懇親会参加費 事前:一般10,000円,学生4,000円〔通常:一般12,000円,学生5,000円〕

(ご注意)

- ・会員には団体会員(維持会員)に所属する方を含みますが、特別会員および公益会員の場合は、1名に限り会員扱いとなります。
- ・参加登録料は税込金額です。
- ・懇親会費は、すべて税込金額です。本年会ではミキサーは開催いたしません。

【Web版講演要旨集の閲覧方法】

9月1日(木)に年会HPにて公開を予定しております。閲覧には事前参加登録が必要です。

【ご注意】本年会へ参加登録をされた皆様は、10月15日(土)まで閲覧・ダウンロードが可能です。10月15日以降は閲覧できません。

その他

講演プログラム集は年会当日に総合受付で参加者にお渡しいたします。なお、講演プログラム速報版を7月下旬に年会HPに掲載の予定です。

【口頭発表者へのご案内】

本年会では、すべての口頭発表で、全会場にプロジェクター、接続ケーブル(RGBケーブル)、PC切替器(モニター切替器)を用意します。講演者(登壇者)は講演データのいったノートPCを持参してください。

【ポスター発表をされる皆様へ】

本年会のポスター発表方法等は、年会HPを参照のうえ準備してください。

【若手ポスター賞について】

若手ポスター発表のなかから複数の優秀なポスター発表を選

お知らせ

定し、懇親会にて表彰いたします。

【講演要旨集の発行日について】

日本分析化学会第71年会 Web版講演要旨集の発行日は、2022年9月1日(木)を予定しております。

特許出願の際は、下記の特許庁ホームページを参照のうえ、専門家である弁理士にご相談いただきますようお願いいたします。

なお、講演発表者の特許出願にあたり、特許法第30条1項(発明の新規性喪失の例外)の適用を受けるための手続きが簡素化されています。

詳細は下記の特許庁ホームページを参照ください。

<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>

☆ ☆

【特別公開シンポジウム：産業界シンポジウム】

主催 産業界シンポジウム企画実行委員会・第71年会実行委員会

場所 岡山大学津島キャンパス(年会会場)

期日 9月14日(水)14時30分～17時30分

【産官学交流カフェ】

主催 第71年会実行委員会

期日 9月14日(水)9時30分～10時45分

場所 岡山大学津島キャンパス(年会会場)

日本分析化学会では、分析化学の多様性を活かし、産のニーズと官・学のシーズをマッチングする場を提供し、連携を加速させ、科学・技術における分析化学の重要性や魅力を発信する役割をめざしています。そのために、産業界の研究者・技術者と交流を進めるきっかけとなる産官学交流カフェを、2019年の千葉年会(第68年会)で実施いたしましたが、第71年会においても本企画を進めています。今回は、大型の分析機器を大学間を含めた地域で共有するという考えのもとで推進されている、内閣府地方大学・地域産業創生交付金事業や文科省コアファシリテ事業などにも着目し、様々な可能性を探っていきたいと考えています。全国の皆様からの情報提供にも期待しております。詳細は年会HPをご覧ください。

【展示会等出展のお願い】

機器・カタログ展示及びランチョンセミナー

主催 第71年会実行委員会

分析・計測機器関連のメーカー・販売会社、分析技術提供会社、関連書籍出版社と年会参加者の相互交流・情報交換の場として、機器展示会およびカタログ展示会を開催します。

また、年会期間中の昼休みを利用してランチョンセミナーを開催します。展示会およびランチョンセミナーに参加ご協力のほどお願い申し上げます。

[機器・カタログ展示会]

開催日 9月14日(水)～16日(金)

会場 岡山大学津島キャンパス(年会会場)

募集締切日 7月20日(水)

[ランチョンセミナー]

日時 9月14日(水)～16日(金)12時10分～13時

会場 岡山大学津島キャンパス(年会会場)

開催費用 150,000円(税別)

※セミナー運営に関する費用(昼食用弁当など)は別途。

募集締切日 7月20日(水)

問合せ・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4(友野本社ビル)(株)明報社(担当:後藤) [電話:03-3546-1337, FAX:03-3546-6306, E-mail:info@meihosha.co.jp]

※機器展示申込方法及びランチョンセミナーの詳細は(株)明報社にお問い合わせください。

【宿泊等について】

実行委員会では宿泊先等にかかる斡旋は行いません。

【託児について】

日本分析化学会第71年会では託児所を準備する予定です。希望される方は8月19日(金)までに以下の年会実行委員会事務局まで、メールでお問い合わせください。

開設時間

9月14日(水)8:30～17:30

9月15日(木)8:30～17:30

9月16日(金)8:30～17:30

託児所 ポストメイト保育園・イオンモール岡山内

お預かり可能年齢 1歳児～小学校低学年のお子様

費用 無料

※その他詳細は年会実行委員会事務局へお尋ねください。

【女性研究者ネットワークセミナー】

【生涯分析談話会講演会】

開催予定です。

※詳細は年会HPに掲載予定です。

【ものづくり技術交流会2022 in 中国四国】

主催 分析イノベーション交流会実行委員会、(公社)日本分析化学会中国四国支部

日時 9月16日(金)

会場 岡山大学津島キャンパス(年会会場に併設)

参加費 無料

【お問い合わせ先】

日本分析化学会第71年会実行委員会事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学理学部化学科内

実行委員長 金田 隆

E-mail: 71nenkai@gmail.com